

1 学校の沿革

神原小・寄宮中分教場から始まった本校は昭和40年琉球政府立鏡が丘養護学校沖縄整肢療護園分教場、40年同分校となり、44年那覇養護学校として独立認可される。復帰に伴い昭和47年県立に移行、平成10年、希望(ゆめ)の樹広場や体育館、室内プールを備えた校舎が竣工し高等部が設置される。14年には通学制(試行)の実施(19年終了)、特別支援教育本格実施を受け21年県立那覇特別支援学校と名称を変更した。

本校は「聞いてなっとく、見てなっとく、知ってなっとく、できてなっとく」をモットーに「希望(ゆめ)がある」「笑顔がある」みんなが「那覇特(なっとく)」する学校を目指している。

創立57周年を迎え、新たなる1歩を進めていきたい。

2 本校の教育目標

児童生徒の障害の状態や発達段階に応じて、小学校、中学校及び高等学校に準ずる教育を行うとともに、障害による学習上、又は生活上の困難を克服するために必要な知識や技能及び態度を養い、自立し社会参加できる人間の育成を目指す。

3 本校の教育目標を具現化する基本方針

教育目標の具体化するための目標は、健やかな身体と心を育てることである。

そして、そのために必要な知識や技能及び態度とは、

- (1)「社会参加」(社会と関わり合う、様々な活動に参加する)する力を育てる。
- (2)「自立」(持てる力を発揮し、自分らしく生きる)する力を育てる。
- (3)「学ぶこと」を楽しみ、粘り強くやり抜く力を育てる。

児童生徒像

- (1) 笑顔いっぱい元気な児童生徒
- (2) 自らの思いを表現できる児童生徒
- (3) 素直でみんなと仲良くできる児童生徒
- (4) 目標に向かって可能性に挑戦する児童生徒

学校像

- (1) 笑顔があふれ元気に学び合う学校
- (2) 保護者や地域とともに歩み信頼される学校
- (3) 希望(ゆめ)の実現をめざす学校
- (4) 花と緑に囲まれ潤いに満ちた学校

教師(職員)像

- (1) 子どもの力を信じ、愛する教職員
- (2) 実践力と専門性の向上に努める教職員
- (3) 豊かな発想でチャレンジする教職員
- (4) 思いやりがあり、同僚性(それぞれの知識や経験を元に相互に授業力を高めていけるような関係のあり方)を高め合える教職員個に応じた学習指導の充実を図る。

4 本校の特色

- 沖縄南部療育医療センターに隣接の肢体不自由特別支援学校
- 隣接施設の専門職員(言語聴覚士、理学療法士、作業療法士等)と連携した教育を実践
- ICT機器等を活用したコミュニケーション支援への活発な取り組み
- 自立活動専科職員による専門性の向上(身体の動き、ICT機器の活用)
- 健康・安全管理の徹底(緊急時シミュレーションを年間2回実施。隣接する施設との合同避難訓練実施)
- 温水屋内プールを活用した体育科、自立活動の指導(6月～10月)
- 特別教室(プレイルーム等)を有効に活用し(集会や授業)本校ならではの特色ある指導計画を立て実施。



「温水屋内プール」



「プレイルーム」

5 各学部の教育目標

(1) 小学部

- ① 生活リズムを整え、元気な児童を育てる。
- ② 自分の感情を素直に表現し、周りの人とのやりとりを楽しむ児童を育てる。
- ③ いろいろな活動に興味関心を持ち、楽しく学ぼうとする児童を育てる。

(2) 中学部

- ① 望ましい生活習慣を身につけ、明るく健やかな生徒を育てる。
- ② 自己の能力を発揮し、活動を楽しむ生徒を育てる。
- ③ いろいろな活動に意欲的に取り組み、心豊かな生徒を育てる。

(3) 高等部

- ① 基本的な生活習慣を形成し、心身ともに健やかな生徒を育てる。
- ② 自分らしく生きるための進路選択できる生徒を育てる。
- ③ 自他を尊重し、社会自立に向けて学び続ける生徒を育てる。

6 教育課程

(1) 一般学級

- ① I 課程：準ずる教育
小学校、中学校、高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成
- ② 訪問教育 I 課程
小学校、中学校、高等学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成

(2) 重複障害学級

- ① II 課程 A・B・C 類型
知的特別支援学校小学部、中学部、高等部の教育課程で編成
A・B・C 類型 各教科・領域毎に授業を実施
- ② 訪問学級 II 課程 A・B 類型
知的特別支援学校小学部、中学部、高等部の教育課程を弾力的に編成
A・B 類型 各教科・領域毎に授業を実施
- ③ 訪問 II 課程 C 類型
知的特別支援学校小学部、中学部、高等部の教育課程で編成
各教科、領域を合わせて指導を行う他、一部、各教科・領域毎に授業を実施

7 児童生徒数

(令和8年4月1日現在)

| | 小学部 | 中学部 | 高等部 | 計 |
|----|-----|-----|-----|----|
| 男 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| 女 | 1 | 6 | 1 | 8 |
| 合計 | 1 | 7 | 3 | 11 |

8 教職員数

(令和8年4月1日現在)

| | | | | | |
|-----|----|------|---|-----|----|
| 校長 | 1 | 養護教諭 | 1 | 用務員 | 1 |
| 教頭 | 1 | 事務職員 | 2 | 看護師 | 0 |
| 事務長 | 1 | 司書 | 1 | その他 | 1 |
| 教諭 | 14 | 介助員 | 1 | 合計 | 24 |

9 日課表

| 事項 | 時刻 |
|------|-----------------------------------|
| 登校 | 8:50～9:00 |
| 第1校時 | 9:00～9:45 |
| 第2校時 | 9:50～10:35 |
| 第3校時 | 10:40～11:25 |
| 第4校時 | 11:30～12:15 |
| 給食 | 12:15～13:00 |
| 第5校時 | 13:00～13:45(小) 13:00～13:50(中高) |
| 第6校時 | 13:50～14:35(小) 13:55～14:45(中高) |
| 下校 | 14:35～14:45(小) 14:45～15:00(中高) |

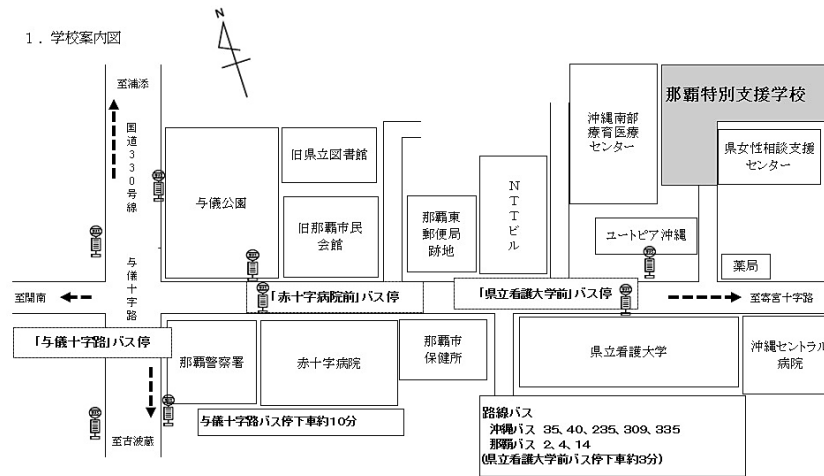
10 交流及び共同学習

児童生徒の経験を広げ、社会性や好ましい人間関係の形成を育む目的で交流及び共同学習を推進しています。交流先は近隣の小中学校をはじめ、児童生徒の居住地の学校、県内高等学校、肢体不自由特別支援学校及び地域の方々など多岐にわたっています。

【令和7年度交流校】

与儀小学校、寄宮中学校、沖縄工業高等学校

11 学校周辺見取図




12 地域への支援活動

地域のセンター的役割を果たす特別支援学校として、近隣の保育所・幼稚園・こども園・小・中学校、関係機関、保護者の皆さんから、幼児・児童・生徒の就学教育相談を行っております。

子どもたちの就学・養育や教育等で何か相談がありましたらお気軽にご連絡下さい。

詳しくは、那覇特別支援学校(支援部)までお問い合わせ下さい。



教育相談(支援部)
特別支援教育コーディネーター
兼 支援部主任 島袋
Tel : 098-834-0948

令和8年度

学校案内



「聞いてなっとく、見てなっとく、
知ってなっとく、できてなっとく」

～希望(ゆめ)がある 笑顔がある
みんなが那覇特(なっとく)する学校～



沖縄県立那覇特別支援学校

〒902-0064 沖縄県那覇市寄宮 2-3-30
TEL 098-834-0948 FAX 098-834-6430

